

第 38 回東京都クラブラグビー選手権 兼 第 32 回東日本クラブラグビー選手権大会・東京都予選

<大会要項>

I 大会日程（日程は確定。詳細については大会申込確認後、記載の予定）

試合 no	日付	グラウンド	KO	種別	ホーム	ビジター	レフリー
	5/15	臨海					
	5/15	長峰					
	5/22	三郷					
	5/22	大沢					
	5/29	三郷					
	5/29	臨海					
	6/5	三郷					
	6/5	臨海					
	6/12	三郷					
	6/19	三郷					
	6/19	長峰					
	6/26	三郷					
	6/26	大沢					

※種別：T／トップクラブ・リーグ戦、Y／都予選・トーナメント戦、交／交流戦

II 実施要項

1. 名称 第 38 回東京都クラブラグビー選手権大会
兼 第 32 回東日本クラブラグビー選手権大会・東京都予選
2. 主催 東京都ラグビーフットボール協会
3. 主管 東京都ラグビーフットボール協会 クラブ委員会
4. 日程 2022 年 5 月～6 月
5. 会場 サンケイスポーツセンター（三郷）その他
6. 参加資格
 - (1) 2022 年 5 月 1 日現在、東京都ラグビーフットボール協会（以下、東京都協会）に「チーム登録」（Rugby Family に登録・納金）されたクラブチーム。
 - * 合同チームで参加する事は可とする
 - * 1 つのチームから複数チーム出場する事は可とする
 - (2) 出場クラブは、公認コーチ（スタートコーチ以上）により統率され、安全推進講習会受講者が存在すること。
 - (3) クラブ帯同公認レフリーを有すること。
 - (4) 参加資格に疑義がある場合は、東京都ラグビーフットボール協会クラブ委員会（以下、クラブ委員会）にて審議する。

7. 競技方法

- (1) 大会は、東日本クラブラグビー選手権大会・東京都予選（以下、東日本C都予選）と交流戦の2つのカテゴリーに分けて開催する。
- (2) 東日本C都予選は、東日本トップクラブリーグ所属クラブはリーグ戦方式、それ以外のクラブは8チームを上限とするトーナメント戦方式で順位を決定する。リーグ戦で1位及び2位チームは東日本クラブラグビー選手権第一及び第二代表として、トーナメント戦1位チームを第三代表として推薦する。
但し、トップクラブ上位チームが全国クラブラグビー大会に出場となった場合は、トップクラブ下位チームとトーナメント戦2位チームが対戦し、勝者を第二代表として推薦する。対戦が必要になった場合の試合方法はクラブ委員会にて決定する。「11. 顕彰」(2)に準じる。
- (3) 交流戦はリーグ戦方式とする。組合せ等はクラブ委員会で指定した方法で実施する。

8. 選手資格

東日本C都予選及び交流戦（共通）

- (1) 本大会の選手資格は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（以下、日本協会）制定の「日本協会規程」及び、その他の規則に抵触しない者とする他、以下の特例を設ける。
- (2) 選手は満18歳以上の者とし、高等学校在学中（定時制を含む）の者の参加はできない。
- (3) 本大会参加選手は、2022年5月1日までに本大会に出場する所属クラブから日本協会へ「競技者個人登録」を完了した者とする。但し、クラブ委員会が認めた事由（入学・入社・転勤等）により、2022年5月31日までに「競技者個人登録」を完了した者に限り追加登録ができる。
なお、競技者個人登録を完了した選手であれば、人数に制限なく本大会に選手登録することができる。
- (4) 一つのクラブから複数のチームで出場するクラブは、選手登録はそれぞれのチームごとに分けて行う。
- (5) 公益財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」等に加入していること。
- (6) 本大会の選手資格に疑義がある場合には、クラブ委員会に於いて裁定する。

★東日本C都予選

- (1) 既に一つのチームから登録し、今年度（2022年度）他の公式大会に出場した選手は、本大会に登録できない。但し、すでに登録したチームで、今年度の公式戦に出場していない選手は、登録変更をクラブ委員会が定めた期日までに済ませれば、他のチームから本大会に出場することはできる。
- (2) 本大会に出場した選手（含む、リザーブ）は、全国大会につながる都道府県大会ないし地域大会に他のチームに移籍して選手登録する事はできない。本大会に選手登録する際には、必ず上記事項を確認の上登録する事。但し、交流戦に出場する選手はこの限りではない。

9. 競技規則

- (1) WR制定の競技規則（直近）によるが、一部大会実施規約を優先する。
- (2) 40分ハーフとする。但し、交流戦は30分ハーフとする。
ハーフタイムは12分以内とする。但し、会場の都合等により短縮される場合がある。
- (3) リーグ戦の順位決定は、勝敗制とする。（東日本トップクラブリーグ所属クラブ対戦試合）
 - ①勝ち数の多いチームを上位とする。
 - ②勝ち数が同じ場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

- ③勝ち数、負け数が同じ場合は、当該チーム同士の勝者を上位とする。
- ④勝ち数・負け数の同じチームが3チーム以上の場合は、当該チームの得失点差によって決定する。
- ⑤不戦敗があったチームは最下位とする。
- ⑥不戦勝があった試合の得点は、勝者が35点、敗者が0点とする。

(4) トーナメント戦で、規程時間内に勝敗が決まらない場合には、以下の基準で次回出場権を決定する。
(8チームを上限とする東日本C都予選試合)

- ①トライ数の多いチーム
- ②トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数が多いチーム
- ③上記方法で決することができない場合には抽選で決める
- ④決勝戦で同点の場合には、両チーム1位とする。但し、上位大会への上場を決める場合には、上記の基準を適用する

(5) 本大会の外国人選手の大会選手登録及び控え選手の登録については制限を設けない。

(6) キックオフまでに試合に出場できる状態の選手15人がそろわない場合は、当該チームを不戦敗とする。

(7) 出場選手の変更は、プレマッチミーティングまでとする。それ以後の変更はできない。

(8) プレマッチミーティング、ドレスチェック、スタッフミーティングは、受付時に確認された時間、場所にて実施する。

(9) プレマッチミーティングは、マッチコミッショナー、レフリー、主将、セーフティーアシスタント(ライセンス持参)、チームドクター(任意)、タッチジャッジとし、ドレスチェック、スタッフミーティングはチームごとに実施する。

(8) 出場登録した選手は、チーム受付時に確認したドレスチェック時間にドレスチェックを受けること。その時間にドレスチェックを受けなかった選手は前半の試合出場はできない。

* ドレスチェックはキックオフ30分前までに設定し終了すること。但し、キックオフまでにドレスチェックを受ければ、後半から出場できる。

(9) 試合中アンコンテストスクラムが発生した場合、勝敗は得点通りとする。

10. 罰則

(1) 参加資格を偽ったり、選手資格のない者が出場した場合には、その時点で失格とし、事実発覚時の相手チームを勝者とする。それ以前のものについてはクラブ委員会に於いて決定する。

(2) その他、スポーツマンシップに反する行為のあった選手、チームがあった場合はクラブ委員会に於いて処分を決定する。

(3) 参加チームは応援団の行為についても責任を負うものとする。

(4) 本大会で生じた不規律に関しては、選手ないしチームに告知聴聞の機会を与えたうえでクラブ委員会に於いて処分を決定する。

(5) 不成立試合を起こしたチームは、双方の分のグラウンド代を支払うこと。

11. 顕彰

(1) リーグ戦及びトーナメント戦の1位・2位チームを表彰する。

(2) 第32回東日本クラブラグビー選手権大会(首都圏ブロック)への出場権は推薦方式とし、本大会の成績・マネージャー・運営力その他を総合判断して選定推薦する。

12. 費用

(1) 大会参加料 = 30,000円

<振込先>

三井住友銀行 霞が関支店（639） 口座番号：6846257

普通 アツミヒロトシ

- (2) その他、試合ごとに大会経費 4,000 円を試合会場にて支払う事。
- (3) 既納の参加料及び諸経費はいかなる理由においても返還しない。
- (4) 試合中に発生した負傷等の医療費は各チームの負担とする。
- (5) 交歓会費用は各チームの負担とする。

13. 大会コラボレーション

この大会の競技運営は、大会参加チームの当番制によるコラボレーション制度は実施しない。試合会場設営及び撤去、試合運営関連作業は各チーム協力の上対応する。運営担当委員の指示のもと、第 1 試合の両チームは会場設営、最終試合の両チームは会場備品等撤去にあたる。

14. チーム競技委員の選出

各チームは試合当日のチーム責任者として「チーム競技委員」を選出し、終日、大会本部とチームとの窓口とすること。

15. チーム指名レフリー・タッチジャッジ

参加チームはチーム指名レフリー（有資格者）・タッチジャッジを登録する。但し、チームに指名レフリーがいない場合には、その候補者を選定の上大会申込時に登録し、日本協会HPより「レフリー資格の案内 Q&A」「スタートレフリー資格の取得について」等を参照し資格取得に務める。また、タッチジャッジが有資格者でない場合は、東京都協会の行う講習会に参加する。タッチジャッジは自チームの試合を担当すること。

16. コンバインドチーム及びレンタル制度

交流戦出場チームは、コンバインドチームや選手レンタルを可とする。但し、チーム及び選手の資格については「6. 参加資格」「7. 選手資格」が適用される。

17. 大会運営

- (1) 大会は、東京都協会主催、クラブ委員会主管のもと、クラブ委員会が運営する。なお、大会規律に関してもクラブ委員会に対応する。
- (2) 大会の中止・中断・再開の決定
 - ①本大会は天候状況、交通の混乱、グラウンド状況等によりクラブ委員会が大会開催不能と判断した場合は、当該試合は中止とし再試合は行わない。トーナメント戦に於いては次の試合への出場は抽選とする。決勝戦が中止となった場合は両チーム 1 位とし、東日本クラブラグビー選手権大会推薦チームは抽選にて決定する。リーグ戦に於いては、原則引き分けとする。
 - ②クラブ委員会が中止と判断しない場合は予定通り実施する。
 - ③抽選の方法は別途定める。
 - ④雷・天候の急変により試合続行が不可能とマッチコミッショナー及びクラブ委員会が協議し判断した場合は、試合を一時中断する事がある。
 - ⑤試合中断時間は原則 20 分間とし、再中断は行わない。但し、会場の都合、帰りの交通事情等により、中断時間は 20 分以内になる場合がある。また、中断時間を設けず、試合を中止する場合もある。
 - ⑥雷等で試合開始後に中止になった場合の勝敗は、中止になった時点の得点で決定する。同点の場合は、リーグ戦は引き分け、トーナメント戦は「9. 競技規則」(4) に準じる。
 - ⑦新型コロナウイルス感染症に関わる大会中止及び大会実施規定は別途定める。

18. その他

(1) 大会スケジュール

※本大会は新型コロナウイルス感染症対策により参加チーム一堂に会しての会議は実施しません。

大会申込等の手続きはメールにて実施します。

4月18日(月) ①大会参加申込書②ユニフォーム調査書・提出締切(メールにて申込)

5月1日(日) ③選手登録用紙・提出締切(メールにて申込)

5月15日(日) 大会開幕

※コロナ感染状況によりスケジュールが変更される場合があります。

(2) 申込方法

① 参加チームは提出物を締切日までに下記委員へ電子メールにて申込みこと。

② 提出物・提出締切日

・①大会参加申込書及び②ユニフォーム調査書(4/18 提出締切)

・③選手登録用紙(5/1 提出締切)

・競技者個人登録用紙・2022 年度登録(5/1 提出締切)

・(公財)スポーツ安全協会「スポーツ保険」等の加入依頼書・写し(5/1 提出締切)

③提出物の送信先

■東日本トップクラブリーグ所属チーム 有馬昌彦 marima5@sompo-japan.co.jp

■トーナメント戦参加チーム 渥美広敏 h_0817@bbm-d.jp

■交流戦参加チーム 高橋隆 taka@be.to

※送信の際の【件名】は「第38回東京都クラブラグビー選手権大会_申込書_クラブ名」としてください。

※大会必要書類等は東京都ラグビーフットボール協会ホームページからもダウンロード可能です。

<https://www.rugby.or.jp/tokyo/>

(3) 大会全般の問合せ先(協会事務所では対応しておりません)

クラブ委員会委員長 高橋隆 taka@be.to 090-3200-6491

※メールまたは電話にてお願いします。

(4) コロナ感染症対策

別途案内致します。

Ⅲ. 実施規約

必要スタッフ(試合ごとに必要な選手以外のスタッフ)

参加各チームは、大会運営及び試合進行を円滑に進めるため、下記スタッフを試合ごとに選出すること。

セーフティアシスタント、ボール係、給水係は自チームで準備されたビブスを着用すること。(今大会では、コロナ感染症対策の観点より、大会本部からのビブス貸し出しは致しません)

■東日本C都予選

①	監督又はコーチ(任意)	1名	
②	チーム競技委員(必須)	1名	
③	交代指示者(必須)	1名	チーム競技委員と兼務可能

④	セーフティーアシスタント(必須)	1名	有資格者に限る インカム装用可 手袋とマスクを各チームの責任で用意し試合中に着用する
⑤	記録係 (必須)	1名	
⑥	ボール係 (必須)	2～3名	
⑦	給水係 (任意)	5名以内	インカム装用可 キックティーを管理
⑧	チームドクター (任意)	1名	

* 上記スタッフは、選手（含むリザーブ）との兼任不可、また、スタッフ間の兼任も不可とします。

* 上記スタッフは、レンタル等の手段により自チーム以外の者を選出する事ができる。

■交流戦

①	チーム競技委員 (必須)	1名	
②	セーフティーアシスタント(必須)	1名	有資格者に限る インカム装用可 手袋とマスクを各チームの責任で用意し試合中に着用する
③	記録係 (必須)	1名	
④	ボール係 (必須)	2～3名	チーム内兼務可能
⑤	給水係 (任意)	5名以内	チーム内兼務可能、インカム装用可 キックティーを管理
⑥	チームドクター (任意)	1名	

* 上記スタッフは、選手（含むリザーブ）との兼任を可とします。また、スタッフ間の兼任も可とします。

* 上記スタッフは、レンタル等の手段により自チーム以外の者を選出する事ができる。

当日の競技に関する諸注意

1. 試合ごとの登録選手

■ 東日本 C 都予選 23名以内とする

■ 交流戦 制限無し

※新型コロナ感染症対策のため、ジャージの着回しは不可とします。

2. 選手の交替・入替

■ 東日本 C 都予選 「競技規則」の定めるところによる

交替、入替は交代指示者が申告用紙を以て申し出ること

■ 交流戦 制限無し（申告用紙は不要）

※出血のための一時的交替は15分以内、それを超えた場合は正式交替となる。

※止血の確認はセーフティーアシスタントが対処する。

※競技中に、レフリーまたはマッチドクター、セーフティーアシスタントに脳振盪と判断されたプレーヤーは即時退場させる。

3. シンピン、退場

(1) シンピンの時間は、次のプレーが再開した時点から10分間（ハーフタイムの時間は含まず）、チーム関係者等との接触は不可とする。

(2) 本大会において累積3回のシンピンが適用された選手は、次の1試合は自動的に出場停止となる。

(3) 同一試合で2回目のシンピンを受けた選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。

- (4) 累積シンビン退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は「退場を命じられたプレーヤーの措置」に基づいてクラブ委員会で処分する。

4. 100 分前受付

- (1) 試合当日チーム競技委員は、遅くともキックオフ 100 分前までに大会本部で「チーム受付」を済ませ、完成された「メンバー／スタッフ表」「来場者リスト」「選手登録用紙」の提出をすること。
(選手登録用紙はメンバー確認後返却します)
- (2) 受付時に当日の必要事項の伝達を行う。
- (3) プレマッチミーティング、ドレスチェック、スタッフミーティングの参加者、実施時間、場所を確認すること。

5. 試合前準備

- (1) プレマッチミーティングでは、競技全般に関する確認を行う。
- (2) ドレスチェックでは、レフリーによる装用具の安全点検、試合に於ける注意事項の説明及び運営委員、タッチジャッジによる登録選手の本人確認、服装点検を実施する。
- (3) スタッフミーティングでは、運営委員より試合運営に関する確認を実施する。
- (4) 記録係はキックオフ 15 分前までに記録席に着席し公式記録用紙を記入する事。
- (5) 試合球（3 個・予備球 2 個）はホームチームの責任で準備すること（両チームで話合い同一品質のものを用意する）。試合球は、プレマッチミーティングの時点で大会本部にて内圧チェックを行い、以後、キックオフまで大会本部で預かる。

6. 競技時、ハーフタイム

- (1) グラウンド内にホームベンチが設けられた場合、ベンチに入れるのは 19 名までとする。
(リザーブ選手 8 名、監督・コーチ 1 名、セーフティーアシスタント 1 名、水係 5 名、責任者／交替指示者含む 3 名、チームドクター 1 名)
- (2) ハーフタイムは原則 12 分以内とする。天候、グラウンド状況により短くする場合がある。
- (3) ハーフタイムの時、フィールドオブプレーに入る事のできる監督・コーチは 1 名のみとする。
- (4) ホームチームの給水係はレフリーの給水を担当する。
- (5) キックティーは予め給水係に預けておくこと。

7. 脳振盪

※「脳振盪及び脳振盪の疑い」の所見をレフリー-或はプレーヤー、チームスタッフ、本部運営担当者が発見した場合、そのアピールによりレフリーが試合を止め、上記のプレーヤー確認を行う。

※確認はチームドクター、セーフティーアシスタント（有資格ヘルスケア専門家）が行う。但し、上記の者が不在の場合は、レフリー、マッチコミッショナーの判断による。

※脳振盪（疑い）と判断されたプレーヤーは即時退場させる。また、脳振盪により退出した選手は、以後 3 週間は試合、練習に参加できない。3 週間以降は、復帰手順の規程に則り、医師の診断書等の提出後、練習、試合への復帰を認める。

※セカンドインパクト（過去の頭部打撲が後日発症）による重傷事故の事例が報告されている。各自、各チームは「安全が第一優先」であることを銘記する。

※日本協会の「競技者個人登録（＝登録者障害見舞金制度）」、及びスポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」等の加入手続きをすること。

※保険証のコピー、選手の緊急連絡先等はチーム責任者できちんと管理しておくこと。

プレーヤーの服装／ジャージの規定／ラグビーマナー

1. 服装の統一

- (1) ジャージ、パンツ、ソックスは、チーム全員統一されていること。但し、今大会に限って、コンバインドチームはジャージの統一を必須とし、パンツ及びソックスは自チームのものを使用して出場することを可とする。
- (2) スパイクに関し、試合会場によって金属ポイント式等使用不可の場合があるので必ず事前確認をすること。
- (3) アンダーウェア、サポーターを着用する場合は、パンツと同色の1色、または、白色、紺色、黒色の単色のもののみ着用できる。
- (4) ヘッドギア、ショルダーサポーター類はWR、I R Bの承認を受けたものとする。
- (5) ジャージその他の用具に血液が付着した場合には、直ちに取り替えること。予備ジャージ（無番号可）等を準備すること。

2. ジャージのデザイン

- (1) 各チームは、ファーストジャージの他にセカンドジャージを準備し、持参すること。コンバインドチームは予め使用するジャージを決めておくこと。
- (2) ジャージには背番号を表示すること。1番から15番は先発メンバーとし、16番から23番をリザーブメンバーが着用する。
- (3) ジャージのカラークラッシュについて
 - ①ファーストジャージが同色または類似した柄の場合は双方セカンドジャージで行う。
 - ②双方のセカンドジャージが同様に同色または類似の場合はホームチームがセカンドジャージを着て、ビジターチームがファーストジャージを着る。それでも不都合な場合は、ホームチームがファーストジャージ、ビジターチームがセカンドジャージとする。
 - ③上記①②の方法をもってなお不都合である場合は、大会本部がレフリーと相談の上決定する。

3. プレーヤーの着こなし

- (1) 選手は以下の着こなしを遵守すること。
 - ・ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにする。
 - ・ジャージは常にパンツの中に入れる。
- (2) ドレスチェックで不許可となったものを競技エリアで着用していた場合には、その時点で退場となる。

4. ラグビーマナー

- (1) 本大会に関係する行事には身だしなみに気を付けて臨むこと。
- (2) 選手はなるべく公共交通機関を利用して来場し、往復途上の事故等による遅れのないように心がけること。
- (3) 会場内はグラウンド、更衣室、駐車場、その周辺区域を含めて全面禁煙とする。

新型コロナに伴う申し合わせ事項について（要点・重複部分あり）

1) 大会運営

- ①コラボレーション
「無し」とする。

グラウンド設営作業は第 1 試合の 2 チーム、グラウンド撤収作業は最終試合の 2 チームにより対応。

②クラブ委員会・委員派遣（1 試合あたり）

マッチコミッショナー（試合数に応じた人数）及びコロナ対応及び会計担当（複数名）の構成とする。

③コロナ対策（各チームの自主的な対応をお願いします）

- ・原則、無観客試合とする。
- ・来場者リスト（出場選手メンバー、スタッフ等）のチーム受付時提出をお願いします。
- ・コロナ対策グッズ着用について
(マスク、手袋、消毒液、ボール拭きタオルは原則的に各チームで準備願います)
担架救護担当者・ボール係・セーフティアシスタントは、手袋、マスクの着用をお願いします。
- ・グラウンド入場時の検温・手指消毒は各チームの責任において実施をお願いします。
- ・試合中、控え選手、スタッフはマスクを着用し大声での声援は遠慮ください。

2) 大会中止の判断要件

①即時中止

- ・首都圏に於いて緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が開催期間に跨り発出されている場合。

②協議の上中止を判断

- ・開催試合にて、感染者が出場し感染拡大が確認された場合。
- ・参加チームによるクラスター化が確認された場合。
- ・使用施設の使用中止等の要請が行われた場合。
- ・その他中止の協議が必要な案件が発生した場合。

3) 中止の場合の対応

- ・開催前の中止の場合。
全日程を中止とする。
※上位大会開催の場合の代表チーム選出はクラブ委員会にて協議し推薦する。
- ・開催後の中止の場合。
実施済試合の戦績は有効とし、以降の試合は全て中止とする。
※上位大会開催の場合の代表チーム選出は、戦績を加味しクラブ委員会にて協議し推薦する。

4) 2023 年度の大会編成

- ・2019 年度（第 35 回大会）の結果に基づき編成する。
- ・大会開催方式は参加クラブの状況を鑑みクラブ委員会にて決定する。

<参考>

第35回東京都クラブラグビー選手権大会・結果

	参加チーム数	Div	35回大会 結果		勝敗	得失点差	備考
トップクラブ	1	1	ハーキュリーズ		3勝	138	
	2	2	駒場WMM		2勝1敗	110	
	3	3	調布三鷹オールカマーズ		1勝2敗	-40	
	4	4	RFCマンダラ東京		3敗	-208	
Div 1	5	1	東京闘球団高麗	決勝トーナメント・1位	3勝	168	1st-1
	6	2	スーパーマンRFC	決勝トーナメント・2位	3勝	101	2st-1
	7	3	早稲田GWRCシニア	決勝トーナメント	2勝1敗	76	1st-2
	8	4	多摩クラブ	決勝トーナメント	2勝1敗	60	2st-2
	9	5	くるみクラブ		1勝2敗	-10	1st-3
	10	6	ガールズRFC	入替戦出場・勝利(Div1)	1勝2敗	-21	2st-3
	11	7	東京外人クラブ	Div.1 昇格	3勝	103	4st-1
	12	8	東京CrusadersR.F.C	Div.1 昇格	3勝	81	3st-1
Div 2	13	1	スウィフト RFC	不戦敗あり・Div.2降格	3敗	-140	2st-4
	14	2	城東ドンキーズ	不戦敗あり・Div.2降格	3敗	-234	1st-4
	15	3	オールジンジャンRFC	入替戦出場・敗戦(Div.2)	2勝1分	15	5st-1
	16	4	NSラガー		2勝1敗	62	4st-2
	17	5	練馬クラブ		2勝1敗	59	3st-2
	18	6	目黒Chasers		2勝1敗	29	5st-2
	19	7	吉祥寺ワイルドターキー		1勝1分1敗	-5	5st-3
	20	8	梶制輪クラブ		1勝2敗	19	3st-3
	21	9	mjkRFC		3敗	-39	5st-4
	22	10	世田谷RFC		3敗	-177	4st-3
	23	11	ブルーソックス	Div.2 昇格	2勝	107	
	24	12	どろんこ・ワイキキRFC	Div.2 昇格	1分1敗	-34	
Div 3	25	1	イエローボックス	不戦敗あり・Div.3降格	1勝2敗	12	4st-4
	26	2	ぜんかいビアーズ	不戦敗あり・Div.3降格	3敗	-159	3st-4
	27	3	オリバーズ		1分1敗	-73	

第35回 東京都クラブラグビー選手権大会 結果詳細

トップクラブ リーグ戦

	駒場WMM	オールカマーズ	ハーキュリーズ	RFCマンダラ東京	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
駒場WMM		○56-0	×12-56	○98-0	2勝1敗	166	56	110	2
調布三鷹オールカマーズ	×0-56		×19-47	○57-13	1勝2敗	76	116	-40	3
ハーキュリーズ	○56-12	○47-19		○78-12	3勝	181	43	138	1
RFCマンダラ東京	×0-98	×13-57	×12-78		3敗	25	233	-208	4

Division 1

1 st.	高麗	くるみ	GWシニア	城東	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
東京闘球団高麗		○19-15	○56-17	○130-5	3勝	205	37	168	1
くるみクラブ	×15-19		×10-51	○不戦勝	1勝2敗	60	70	-10	3
早稲田GERCシニア	×17-56	○51-10		○81-7	2勝1敗	149	73	76	2
城東ドンキーズ	×5-130	×不戦敗	×7-81		3敗	12	246	-234	4

2 st.	多摩	スーパーマン	GIRLS	スウィフト	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
多摩クラブ		×12-25	○36-31	○80-12	2勝1敗	128	66	60	2
スーパーマンRFC	○25-12		○57-5	○50-14	3勝	132	31	101	1
GIRLS RUGBY FOOTBALL CLUB	×31-36	×5-57		○46-10	1勝2敗	82	103	-21	3
スウィフト RFC	×12-80	×14-50	×10-46		3敗	36	176	-140	4

Division 2

3 st.	楢制輪	練馬	Crusaders	ぜんかい	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
楢制輪クラブ		×15-19	×26-63	○74-14	1勝2敗	115	96	19	3
練馬クラブ	○19-15		×41-50	○78-14	2勝1敗	138	79	59	2
東京CrusadersR.F.C.	○63-26	○50-41		○不戦勝	3勝	148	67	81	1
ぜんかいビアーズ	×14-74	×14-78	×不戦敗		3敗	28	187	-159	4

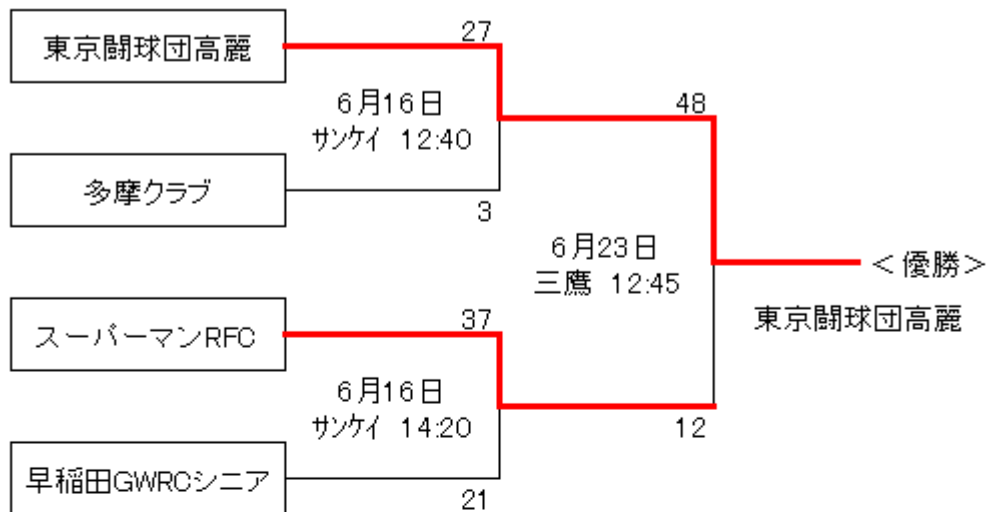
4 st.	東京外人	NS	イエロー	世田谷	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
東京外人クラブ		○35-19	○59-34	○69-7	3勝	163	60	103	1
NSラガー	×19-35		○不戦勝	○53-10	2勝1敗	107	45	62	2
イエローボックス	×34-59	×不戦敗		○77-5	1勝2敗	111	99	12	4
世田谷ラグビーフットボール倶楽部	×7-69	×10-53	×5-77		3敗	22	199	-177	3

5 st.	オールジャンジャン	目黒	吉祥寺	mjk	勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
オールジャンジャン		○38-24	△26-26	○36-35	2勝1分	100	85	15	1
目黒Chasers	×24-38		○31-0	○36-24	2勝1敗	91	62	29	2
吉祥寺ワイルドターキー	△26-26	×0-31		○59-33	1勝1敗1分	85	90	-5	3
mjkラグビーフットボールクラブ	×35-36	×24-36	×33-59		3敗	92	131	-39	4

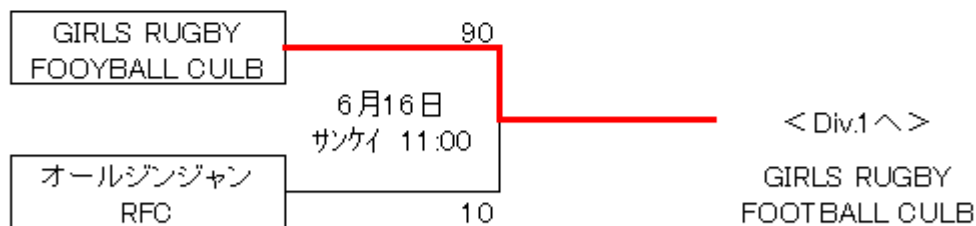
Division 3

6 st.	オリバーズ	どろんこワイキキ	ブルーソックス		勝敗数	得点	失点	得失点差	順位
オリバーズ		△29-29	×0-73		1分1敗	29	102	-73	3
どろんこワイキキR.F.C.	△29-29		×14-48		1分1敗	43	77	-34	2
ブルーソックス	○73-0	○48-14			2勝	121	14	107	1

Div.1 トーナメント戦



Div.1/Dvi.2 入替戦



Div. 2、Div. 3の上位2チームは自動昇格
Div. 1、Div. 2の下位2チームは自動降格

※Div1.のトーナメント戦は、上位2チーム同士の準決勝・決勝を実施
優勝チームを東日本第三代表として推薦

【OFFICIALS】

大会会長 水谷 眞（東京都ラグビーフットボール協会 会長）
副会長 海老原洋一（東京都ラグビーフットボール協会 理事長）

（主管）東京都ラグビーフットボール協会クラブ委員会

■委員長 高橋 隆
■副委員長 渥美広敏・山崎泰弘
■総務 有馬昌彦・庵原浩樹・大平充洋・春日光幸・夏井由香梨・野口 満・山崎 純
■委員 柏木大輔・伊藤泰之・小川浩司・片山良太・笠原恭子・金 明俊・坂本正樹
坂本祐介・鈴木秀之・関田 隆・中村耕太郎・早崎真吾・橋本光一・藤原泰宏
福岡弘行・八角康雄・服部祐一郎

大会参加クラブチーム 代表者様

令和4年4月4日
東京都ラグビーフットボール協会
クラブ委員会 委員長 高橋 隆

第38回東京都クラブラグビー選手権大会

参加チームの皆様へのお願い

貴チームにおかれましては、コロナ禍での中チーム活動に日々ご尽力の事と存じます。

いまだ、新型コロナウイルス感染の収束が見得ない状況ではございますが、東京都ラグビーフットボール協会クラブ委員会におきましては、表題大会開催に向けて準備を進めております。開催にあたりましては、参加チームの皆様・大会関係者の皆様の安全・安心を第一義に対処して参りたいと存じますが、今後新型コロナウイルスの感染拡大等状況悪化が認められた場合は大会中止となることもご留意賜ればと存じます。

つきましては、皆様方には大変ご迷惑をお掛け致しますが、チームにおかれましては下記感染防止への対応及び大会運営へのご協力の程宜しくお願い申し上げます。

併せまして、大会参加に際しましてはチーム関係の皆様の健康・安全にご配慮賜ります様宜しくお願い申し上げます。

記

①大会開催前

- ・(公財)日本ラグビーフットボール協会発信の「新型コロナウイルス感染防止に向けた対策」「ラグビートレーニング再開ガイドライン」の遵守対応をお願いします。
- ・チーム関係者の健康管理の徹底をお願いします。
- ・チーム活動においては「三密」を避ける行動の徹底をお願いします。
- ・チーム内にて新型コロナウイルス感染者が出た場合は、速やかにクラブ委員会に報告をお願いします。

②開催中

- ・試合当日の来場のチーム関係者全員の健康管理チェックの徹底をお願いします。
注)当日 37度5分以上の方の来場並びに試合出場は出来ません。
 - ・チーム責任者は、関係者の連絡先及び緊急連絡先の保持をお願いします。
 - ・チームとしての、消毒剤/体温計等の準備をお願いします。
 - ・必ず個人用のボトルを用意し、他者との兼用を避けて下さい。
注)試合中の水係は、本大会は追加2名を認めます。
 - ・併せて備品関係は、兼用使用を避け個人対応にて対処下さい。
 - ・使用する施設の感染防止対応の指示を遵守下さい。
 - ・試合会場来場に際しては、感染防止に十分に配慮した対応をお願いします。
 - ・開催中に、チーム内において感染者が出た場合は以下詳細を速やかにクラブ委員会に報告をお願いします。
(試合後に感染が判明した場合、対戦チームにも連絡をお願いします)
- a) 感染の状況(時期)

b) 試合会場への来場及び試合出場の有無

c) 感染者の氏名(役職・ポジション)

d) チーム内における濃厚接触者の有無

e) 感染発症後の対応並びに状況 等

注)感染者は 1 ヶ月(最低)の活動復帰は出来ません。チームについては、濃厚接触等の状況に鑑み、チーム並びにクラブ委員会にて活動判断を協議致します。

また、感染者が試合会場にて来場/試合出場が確認された場合は、試合終了後は当該試合は成立としますが、以降の当該チーム並びに対戦チームの試合出場の可否は状況に鑑みクラブ委員会にて協議し決定致します。

・チームにおいて、感染防止対策の為の対応をお願いします。

以上